

編集委員が
インタビュー！

表紙：働く人シリーズに寄せて

保護司 さんに伺いました

Q 仕事の内容を教えてください。

A 犯罪をした人や非行に走った少年のうち、執行猶予付きの人、保護観察処分を受けた人、少年院を仮退院している人など、担当している人と月1、2回面談し、生活の実態や状況などをヒアリングします。その結果を保護観察所に報告書として提出します。

Q 仕事を引き受けたきっかけはなんですか。

A もともと行政関係で働いていましたので、退職後は行政に恩返ししたいと思ったからです。

Q 仕事で大変なことはどのようなことですか。

A 法務大臣からの委嘱のため、市民に身近な行政がなかなか関わりにくいことです。活動拠点もありますが、市の厚意で月2回サポートセン

ターの会場をお借りできたことは良かったです。

Q 市民の皆さんに一言お願いします。

A 保護司も高齢化しています。後任者を見つけるのが大変です。市との話し合いで、各自治組織の会議に伺って、保護司の仕事をお話する予定です。ぜひ、ご協力ください。



保護司の浅海さん

市議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。
市議会の会議録も見られます。
録画放映やSNSもご覧ください。

ふじみ野市議会

検索



定例会情報

次の定例会の
開 会 予 定: 2月22日 午前9:30~

請願締切予定: 2月12日 午前10:00

市役所 4 階議場で開催します

議会広報常任委員会

委員長	川畑 京子	副委員長	原田 雄一
委員	鈴木啓太郎	委員	民部 佳代
委員	加藤 恵一	委員	床井 紀範
委員	伊藤 初美		

表紙の題字を書してくれた人
韋原中学校1年 久保 美遥さん

ふじみ野



ふじみ野市には、上福岡七夕まつりなど様々なイベントがあります。そのようなイベントも昨年は新型コロナウイルスにより中止になりました。収束した後は今までと同じような活気を取り戻せるよう、積極的に参加していきたいです。

編集後記

市内にも新型コロナウイルスの感染者が急速に増え、定例会の一般質問も書面で行うなど異例の対応で臨みました。

大型クルーズ船が横浜港に入港して1年。これほど長く私たちの健康が脅かされ、生活が変わることを、あのとき想像すらできませんでした。

新年会や大人数の会合もなくなり、直接会っての会話も減り、議員の仕事も今までにはいかなくなりました。

一方でリモート会議や研修、オンライン飲み会なるものにも挑戦。遠方の人や障がいなどの理由で外出が難しい人など、今まで接する機会がなかった人と出会うこともあります。

いま私たちは、数十年後、数百年後にも歴史として語られる時代を生きています。新しい時代に、議会もしなやかに対応していきたいと思います。
(民部 佳代)